

研究機関：広島大学

研究課題名	3学会合同抗菌薬感受性サーベイランス-第3回手術部位感染（SSI）-
研究責任者名	広島大学大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜
研究期間	2018年10月5日～2020年3月31日
対象者	2018年10月から2019年4月の間に、広島大学病院全診療科での消化器外科手術後の感染が診断された患者。
意義・目的	術部位感染症患者より分離された原因菌に対する各種抗菌薬の感受性を測定し、原因菌の患者背景・地域別の分布及び感受性推移・耐性化動向を経年的に検討することにより、感染症化学療法の適正化を促進することを目的とします。
方法	<p>本研究は、消化器手術の術後の感染が診断され、膿、穿刺液、腹水、胆汁などから検出された <i>Bacteroides</i> 属、<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA, MSSA)、<i>Enterococcus faecalis</i>、<i>Escherichia coli</i>、<i>Klebsiella pneumoniae</i>、<i>Enterobacter cloacae</i>、<i>Pseudomonas Aeruginosa</i> などの菌株と診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は対象菌種、科名、担当医師、検体番号、年齢、性別、手術対象疾患、術式、手術手技コード、感染症（表層切開創感染、深部切開創感染、臓器／体腔感染）、検体採取日、検体、手術名です。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
共同研究機関	<p>別紙に示す大学及び関連施設（約40施設）</p> <p>北里大学抗感染症薬研究センターに情報を集め北里大学抗感染症薬研究センター（研究責任者 花木 秀明）が解析します。</p>
試料・情報の管理責任者	兵庫医科大学 感染制御学 教授 竹末 芳生
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞1-2-3</p> <p>Tel: 082-257-1613</p> <p>広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜</p>